

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成18年1月26日(2006.1.26)

【公表番号】特表2001-525466(P2001-525466A)

【公表日】平成13年12月11日(2001.12.11)

【出願番号】特願2000-524340(P2000-524340)

【国際特許分類】

C 0 9 J 175/04 (2006.01)

C 0 8 G 18/48 (2006.01)

C 0 8 G 18/66 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 175/04

C 0 8 G 18/48 Z

C 0 8 G 18/66 A

【手続補正書】

【提出日】平成17年11月25日(2005.11.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 a) 約50重量%～約95重量%の範囲内の、少なくとも1種のポリマーポリオール成分、

b)、約1重量%～約15重量%の範囲内の、少なくとも1種のアルキレンジオール成分、および

c) 約10重量%～約35重量%の範囲内の、少なくとも1種のポリイソシアネート成分

の反応生成物を含む接着剤組成物であって、

前記組成物は無機顔料およびフィラーが存在せず、前記成分は、約60を超えるL*ホワイト値を有するポリウレタン系接着剤を形成するように反応する接着剤組成物。

【請求項2】 周囲室温で約5,000 mPa・s未満の初期粘度を示す請求項1記載の組成物。

【請求項3】 前記アルキレンジオールが、約950 mg KOH/グラム～約1250 mg KOH/グラムのヒドロキシル数を有する請求項1または2記載の組成物。

【請求項4】 a) 約50重量%～約95重量%で存在する、約10 mg KOH/グラム～約210 mg KOH/グラムのヒドロキシル数を有する高MWトリオールを含む少なくとも1種のポリマーポリオール成分、および

b) 約10重量%～約35重量%で存在する、少なくとも1種のポリイソシアネート成分

の反応生成物を含む接着剤組成物であって、

前記接着剤組成物は無機顔料およびフィラーが存在せず、前記成分は、約60を超えるL*ホワイト値を有するポリウレタン系接着剤を形成するように反応する接着剤組成物。

【請求項5】 請求項1～4のいずれか1項記載の接着剤組成物でフィルター末端キャップに結合された多孔性フィルター媒体を備えるフィルター。

【請求項6】 a) 請求項1～4のいずれか1項記載の接着剤組成物を基材に適用する工程、および

b) 前記接着剤を硬化させる工程

を含む、結合された基材の製造方法。

【請求項7】 前記結合された基材が窓である請求項6記載の方法。

【請求項8】 a) ポッティングされた材料を形成するために、請求項1～4のいずれか1項に記載の接着剤組成物をフィルター末端キャップに適用する工程、

c) 少なくとも1つの多孔性フィルター媒体を提供する工程、および

d) 前記ポッティングされた材料に前記少なくとも1つの多孔性フィルター媒体の少なくとも一方の末端を入れて硬化させる工程

を含む、結合されたフィルターの製造方法。